

大藤棚再生に募金呼びかけ ふじしま観光協会など3団体 住民の力、地域の力をまちづくりにつなぐ

藤島歴史公園 正
(ヒスカ)の大藤棚再生に向け、募金が呼びかけられています。発起人は、ふじしま観光協会・田中壽一會長と、藤島ライオンズクラブ・成澤剛會長、藤友会（ふじともくらぶ）・深澤一雄會長の3団体です。

態になりました。これまで藤島地域のまちづくりのシンボルとして取り組んできた住民にとって、大きなショックとなりました。誇りを取り戻す

市では12月議会に、枯損ふじの植え替えに係る経費として175万円の補正予算を計上しています。

しかし、関係者は市の財政に迷惑をかけられないとして、住民から寄附を募り、植え替え工事費の見込み184万円を上回る募金を集めたいとしています。住民の力、地域の力をまちづくりに結集し、将来に向けて、どこに



被覆大藤棚「花まつり」の中央部直前



最初に落ちた葉の最写真（大藤棚の1本が枯れている）

も負けない大藤棚を再開させて、藤島地域の誇りを取り戻したいとしています。

ふじしま観光協会へ

募金額は一口1000円から、

募金期間は12月2日（月）から令和2年1月31日（金）まで、

募金の方法は、現金の場合は、出羽

商工会藤島支所内の「ふじしま観光協会」へ、口座振替の場合は、口座名義「ふじしま観光協会 会長 田中壽一」
・庄内銀行藤島支店・普通 0011781
・鶴岡信用金庫藤島支店 普通 0077009
・庄内たがわ農協藤島支所 普通 2948101
募金寄贈先は、鶴岡市長・皆川治宛になります。

募金が目標額を超えた場合には、ウイステリア基金に積み立てたいとしています。

心寄せ合って

今回の事件も、ふじ棚への除草剤散布との関連が疑問視され、公共物の器物損壊は犯罪であり、要注意です。

ナナカマド被害

一方、藤島地域の中心街、新町橋から藤島庁舎側に延びる都市計画道路で11月15日、街路樹のナナカマド11本が切り倒されているのが見つかりました。葉が紅葉してきれいな赤い実をつけた状態で、植栽場所に倒されました。

悼亡

自失之子涙暗垂
幾年石關口銜悲
而今悶々黄泉里
賢才亡夫見妻時

悼亡

自からの子を失い涙暗に垂れる
幾年石關口に銜んで悲しむ
而今悶々として黄泉の里
賢才なる亡夫妻を見るのとき

城貞（藤の花）

愛してる夫が亡くなり、涙はただ流れるばかり。幾年であつただろうか。短い年月語る事のできない悲しさ。ただ今は、もんもんとして冥土に行ってしまった。才知のあつた亡き夫、妻を見ている時の顔が浮かんで来るがもうこの世にはいない。

悼亡Ⅱ人の死を悲しむ。之子Ⅱこの人。愛する者の呼び方。亡夫。石關Ⅱ短い年月。而今Ⅱ今という今。悶々Ⅱなやみ。もだえ。黄泉Ⅱ死者のゆくところ。賢才Ⅱ才知のある人。学問、人格のすぐれた人。

短歌

時経れば

時経れば悲しみ薄らぐ日もあらむ

本間繁子

夫を亡くせし娘を思う日々

第5回うたごえ喫茶inぽっぽの湯

12月14日(土) 14時〜15時30分
参加料500円(ドリンク1杯+入浴券)

人行動で最大規模になった。格差拡大の原因となった新自由主義の憲法改定をもとめる抗議である。

新自由主義は、主要産業を国有化し公共事業を広く行う政府を求め、産業の民営化を進め、規制緩和を行うことで市場活性化を図るという主張である。

それまでの政府の保護で、雇用や社会保障などを守ることを放棄だった。

日本では中曽根内閣

が始めた。

日本専売公社、日本電信電話公社、日本国有鉄道の三公社民営化、半官半民の日本航空の完全民営化、小泉内閣も郵政事業と道路四公団を民営化し、また労働者派遣法の規制を緩和し派遣社員が激増した。

今や新自由主義は貧富の格差を拡大するなど、世界中で市民生活破壊のおおもとになっている。

藤島地域(全地区)の名人による作品展

〜木彫・木工・藁細工 パートⅢ〜

12月13日(金)〜令和2年1月12日

東田川文化記念館・ギャラリー藤

藤島地域の名人による木彫・木工・藁細工の作品展が13日から来年1月12日まで、東田川文化記念館ギャラリー

―藤で開催されます。いずれも趣味の域を脱したすぐれた芸術作品となっています。

世界の国々

チリ共和国

格差拡大の新自由主義に抗議行動

青山 崇



アメリカ東部、南北に細長い領土と南太平洋のイースター島など多くの離島からなり、面積76km²(日本の倍)、人口1780万人、首都はサンチアゴである。



モアイ(写真)という人の各部を誇張した石碑が1000ほどあり世界遺産になっている。

今チリで最大の問題になっているのが新自由主義を基とした憲法改定問題である。

貧富などの格差拡大に怒る抗議行動が、10月始まり25日100万



でたらめの極み

雪が降る季節になって、「桜」が賑やかだと揶揄されていますが、トンデモナイ事の連続じゃございませんか。日ごとに新しい発見がある税金の私物化。これは、長い自公政権が作ってきたんだぜ。しかも、不正を明らかにしようとする行政の奴ら。頭が良い癖に、直ぐに化けの皮が剥がれるウソを言っている。

▲曰く、出来上がりが予算の3倍にもなっている事を、セキユリテイが原因と言ったが、首相の御一行様は持ち物検査をしていないというぜ。反社会的な者も呼ばれている事も判明している。なにがセキユリテイだよ。

▲予算の3倍にもなったものの支出はチャンネルと手続きをしているんだか。4月から動き出

す会計年度。4月の行事だから5月に払うにしても、3倍の支出は出来ぬ。ここにも違法があるようだぜ。会計検査院の見落としか。しかも、何年も続けて。

▲シュレッターの件も面白いぜ。共産党が名簿を要求した日の午後から名簿をシュレッターにかけ始めた事が見破られた。だから、保存期間が1年未満というのも悪知恵だろう。シュレッター、使っていないも見せられるだろう?。それを見せられぬとソツパッタんだ。全くガキだぜ。

▲事は、税金を使ったデタラメ行事なんだぜ。なんで正確な事を言わないんだよ。この公務員は、テレビに映るから家族が恥ずかしい思いをしているゾ。シヤーシヤーとウソを言う上司に愛想をつかしている健全な者もいるだろう。デタラメを正す内部告発を期待しているゾ。(石川)

